【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年3月28日(2022.3.28)

【公開番号】特開2021-108869(P2021-108869A)
【公開日】令和3年8月2日(2021.8.2)
【年通号数】公開・登録公報2021-034
【出願番号】特願2020-1919(P2020-1919)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和4年3月17日(2022.3.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
演出を実施可能な演出装置において、
前記演出装置は、第１の可動体と第２の可動体とを備え、
前記第１の可動体は、第１の位置から第２の位置への動作を実施可能であり、
前記第２の可動体は、前記第１の可動体の作動に影響を与えることが可能であり、
前記第１の可動体は、
特定の演出態様が実施可能であり、
前記第１の位置および前記第２の位置のうち、少なくともいずれか一方の位置において前記特定の演出態様で演出実施可能であり、
前記第１の位置から前記第２の位置に移動する動作においても前記移動する動作に伴って前記特定の演出態様を実施可能であり、
前記演出態様は切替手段によって決定され、
前記第１の可動体の内部には発光源を有しており、前記第１の位置から前記第２の位置に動作するに際して前記第１の可動体の表面部と前記発光源との距離が変化することを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
特許文献１には、回転動作を行うことで所定の可動演出を行う可動演出役物を備えた遊技機が開示されている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】

【特許文献１】特開２０１６－５９４９８号公報
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
このような遊技機において、遊技の興趣をさらに向上させることが望まれている。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明は、上述した課題に鑑みてなされたものであり、遊技の興趣を向上させることができる遊技機を提供することを目的とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明に係る遊技機は、演出を実施可能な演出装置において、前記演出装置は、第１の可動体と第２の可動体とを備え、前記第１の可動体は、第１の位置から第２の位置への動作を実施可能であり、前記第２の可動体は、前記第１の可動体の作動に影響を与えることが可能であり、前記第１の可動体は、特定の演出態様が実施可能であり、前記第１の位置および前記第２の位置のうち、少なくともいずれか一方の位置において前記特定の演出態様で演出実施可能であり、前記第１の位置から前記第２の位置に移動する動作においても前記移動する動作に伴って前記特定の演出態様を実施可能であり、前記演出態様は切替手段によって決定され、前記第１の可動体の内部には発光源を有しており、前記第１の位置から前記第２の位置に動作するに際して前記第１の可動体の表面部と前記発光源との距離が変化することを特徴としている。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明によれば、演出態様を多彩にし、遊技の興趣を向上させることができる。